

# Vega X3

User manual



**aethra**<sup>®</sup>  
keep connected

## Welcome



Thank you for choosing a AETHRA<sup>R</sup> SpA. Product.  
Inside you will find useful information to help you get the most out of the Aethra product.  
The information contained in this manual is subject to change without prior notice  
by Aethra SpA.

## INDEX

<a href="#">事前注意</a>	5
<a href="#">安全注意事項</a>	5
<a href="#">取扱注意事項</a>	5
<a href="#">クリーニング方法</a>	5
<a href="#">製品の特長</a>	6
<a href="#">製品同梱物</a>	6
<a href="#">リモコン</a>	7
<a href="#">リモコンボタン</a>	8
<a href="#">英数字入力ボタン説明</a>	10
<a href="#">設置と設定</a>	11
<a href="#">ケーブル設置図</a>	11
<a href="#">アドバイス</a>	12
<a href="#">会議の調整</a>	12
<a href="#">映像の調整</a>	12
<a href="#">音声の調整</a>	12
<a href="#">設定</a>	12
<a href="#">PODマイクの接続</a>	13
<a href="#">使用方法</a>	14
<a href="#">電源を入れる</a>	14
<a href="#">メニューマップ</a>	15
<a href="#">発信方法</a>	16
<a href="#">アドレス帳からの発信</a>	16
<a href="#">ビデオ番号入力からの発信</a>	16
<a href="#">発信・受信の選択</a>	17
<a href="#">TCS-4モードでの発信</a>	17
<a href="#">電話番号入力からの発信</a>	17
<a href="#">暗号化通信</a>	17
<a href="#">受信方法</a>	18
<a href="#">アドレス帳の利用</a>	19
<a href="#">新規登録方法</a>	19
<a href="#">アドレス帳の編集</a>	19
<a href="#">リモートサーバーへの登録</a>	19
<a href="#">映像ソース</a>	20
<a href="#">撮りたい絵を撮る方法</a>	20
<a href="#">映像ミュート</a>	20
<a href="#">音声設定</a>	20
<a href="#">カメラプリセット</a>	21

<u>X1 の設定</u> .....	22
<u>ユーザー設定</u> .....	22
<u>コントロールパネル</u> .....	23
<u>発着信設定</u> .....	24
<u>ステータスバーと透過度</u> .....	26
<u>配色の変更</u> .....	26
<u>日付と時刻</u> .....	26
<u>音声・映像・データ</u> .....	27
<u>音声</u> .....	27
<u>映像品質</u> .....	29
<u>カメラ</u> .....	30
<u>モニタ</u> .....	31
<u>データチャンネル</u> .....	33
<u>詳細設定</u> .....	34
<u>パスワード</u> .....	34
<u>プロトコル設定</u> .....	35
<u>通信設定</u> .....	36
<u>ISDN設定：オプション</u> .....	36
<u>IP設定</u> .....	38
<u>ロケーション設定</u> .....	42
<u>設定の初期化</u> .....	43
<u>ライセンス</u> .....	43
<u>暗号化</u> .....	43
<u>診断</u> .....	45
<u>端末テスト</u> .....	45
<u>インターフェース</u> .....	45
<u>接続状態</u> .....	45
<u>ハードウェア</u> .....	46
<u>リリースソフトウェア</u> .....	46
<u>技術仕様</u> .....	47
<u>トラブルシューティング</u> .....	48
<u>技術明細事項</u> .....	49



危険： 製品内部に電気ショックを発生する、高電圧その他の危険に晒されることがあるので、お取り扱いにご注意ください。



注意： 製品のすぐ近くの、簡単に手が届く位置にあるコンセントに接続してください。ケーブル、コードなど絶対に改造しないでください。



注意： この製品は精密機械ですので、操作するときは静電気が起こらないよう放電しながら電子部品等を取り扱ってください。

## 事前注意

- ・ 正しく電源コードを配線し、アース接続してください。
- ・ 安全のため、製品本体の背面にオプションのネットワークインターフェースカードがある場合は外さないでください。カードがない場合は、カバーを付けていますので絶対にカバーを外さないでください。
- ・ 安全のため、メーカー提供された電源コード、ACアダプター以外は使用しないでください。
- ・ 製品に使用されている電池を破棄するときは焼却したりせず、産業廃棄物処理会社やリサイクル業者をお願いするようにしてください。電池を開いたり、修理したり、水やその他液体をかけたりしないでください。
- ・ 安全のため、電池は正しくはめてください。
- ・ 急激な室温の変化によって結露する恐れがあります。結露防止のために、このような場合は電源コードを接続する前に最低1時間以上、時間を置いてください。
- ・ 製品から出火した際、消火に水は使わないでください。
- ・ この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。製品使用により電波妨害が発生した場合には、すみやかに製品の使用場所を変えるか運用を停止(電波の発射を停止)するなど、使用者のご負担にて適切な対策を請ずるよう要求されることがあります。
- ・ 製品を開けたり、電源コード等のカバーを外したりしないでください。
- ・ 製品に液体がかかったり、物が内部に入り込んだ時はすぐに電源コードを抜き、お求め先担当者へご連絡ください。
- ・ ご不明な点がございましたら、お求め先担当者へお問合せください。
- ・ お問合せの際、コンセントは抜いた状態にしてください。

## 安全注意事項

- ・ これらの注意事項を遵守しない場合は、製品故障の原因にもなりますのでご注意ください。

## 取扱注意事項

- ・ これらの注意事項を遵守しない場合は、製品故障の原因にもなりますのでご注意ください。

## クリーニング方法

- ・ 手入れ方法: やわらかい乾いた布、または薄めた洗剤を湿らされた布で外部を拭いてください。アルコール系、ガソリン系の溶剤は絶対に使用しないでください。

## 製品の特長

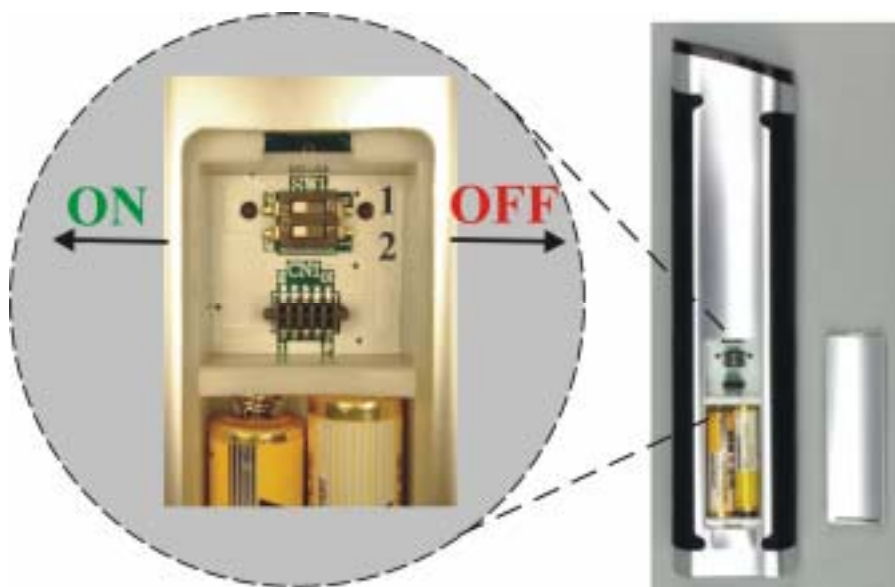
- IP(H323)、ISDN、専用線対応 \*ISDN、専用線オプション
- PTZ カメラ内蔵、その他ドキュメントカメラ接続可能
- AMX 社、Crestron 社タッチパネル対応
- マルチメディアサポート T.120
- エコーキャンセラ Full-duplex
- オートノイズリダクション
- 遠隔診断と管理

## 製品同梱物

- コーデック
- カメラ
- POD マイク
- 電源ケーブル
- 赤外線リモコン
- ユーザーマニュアル
- 音声・映像ケーブル
- LAN ケーブル

## リモコン

Note	リモコンの後ろのカバーをはずすと、赤外線送信距離を調節するスイッチがあります。近くのテレビ会議システムに影響を及ぼさないために、2m または 20m (初期設定) で設定できます。 オンにする→ 20m(初期設定) オフにする(1、2 両方)→ 2m
------	---



## リモコンボタン

Key	機能説明
	<b>ON/OFF</b> システムの起動および終了 システムを「スクリーン・セーバー」モード開始/終了 ボタンを押すと「システムをすぐにシャットダウンしますか」とメッセージが表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>はい</b>: システムを終了</li> <li>• <b>いいえ</b>: スクリーン・セーバーモードへ</li> </ul>
	<b>SEND</b> 静止画を送信します。
	<b>SLIDE</b> PowerPoint のシートをスライド化したものを表示します。
	<b>FAR/NEAR</b> 自拠点(NEAR)または、接続拠点(FAR)を選択しカメラ操作を開始します。
	<b>DUAL</b> 通信中に押すと、デュアルビデオを開始:セカンドソースの選択画面が表示されます。 デュアルビデオ起動中に押すと、デュアルビデオを終了します。
	<b>PIP</b> 子画面の表示 / 非表示 (指定がない場合は左上に表示されます) PIPを可動に設定している場合、このボタンを押し、子画面を移動できます (コントロールパネルの項参照)
	<b>PRIVACY</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通信中に押す                映像カット機能:自拠点の映像がカットされ、映像プライバシー画像を代わりに相手先に表示します。</li> <li>・通信していないときに押す  <b>Video privacy</b>:上記のとおり  <b>Don't disturb</b>: 接続中、他の受信に応答しない</li> </ul>
	<b>BACK</b> このボタンを押すとひとつ前のページへ戻ります。 (そのメニュー画面上で変更した設定は保存されません)
	<b>HOME</b> このボタンを押すと、メインメニューへ戻ります (そのメニュー画面上で変更した設定は保存されません)
	<b>SELF</b> セルフビューの表示 / 非表示
	<b>HELP</b> ヘルプの表示 / 非表示
	<b>ZOOM (- / +)</b> カメラのズーム調整 <b>Auto</b> オートトラッキング機能の開始/終了
	<b>VOL (- / +)</b> 音量の調整 <b>Mute</b> 音声ミュートの開始/終了



	<p><b>矢印</b> メニューおよびカメラ動作</p> <p><b>OK</b> 選択の確認</p>
	<p><b>CALL</b> 接続または受信の許可</p> <p><b>DISCONNECT</b> 切断</p> <p><b>PHONEBOOK</b> アドレス帳の表示.</p>
	<p><b>FUNCTION</b></p> <p>赤: 映像入力選択のショートカット機能</p> <p>黄: 映像入力選択のショートカット機能</p> <p>青: H.243機能のショートカット機能</p> <p>緑: 静止画の表示のショートカット機能</p>
	<p><b>CLEAR/DELETE</b> 入力文字の削除</p>
	<p><b>CAMERA</b> ビデオ入力を選択 カメラ選択のショートカットとして使用可能 (音声・映像・データ章参照)</p>
	<p><b>Memo-PRESET</b> カメラのプリセット登録</p>
	<p><b>Sel-PRESET</b> 登録済みプリセットの呼び出しボタン</p>



**英数字 (10 キー)**

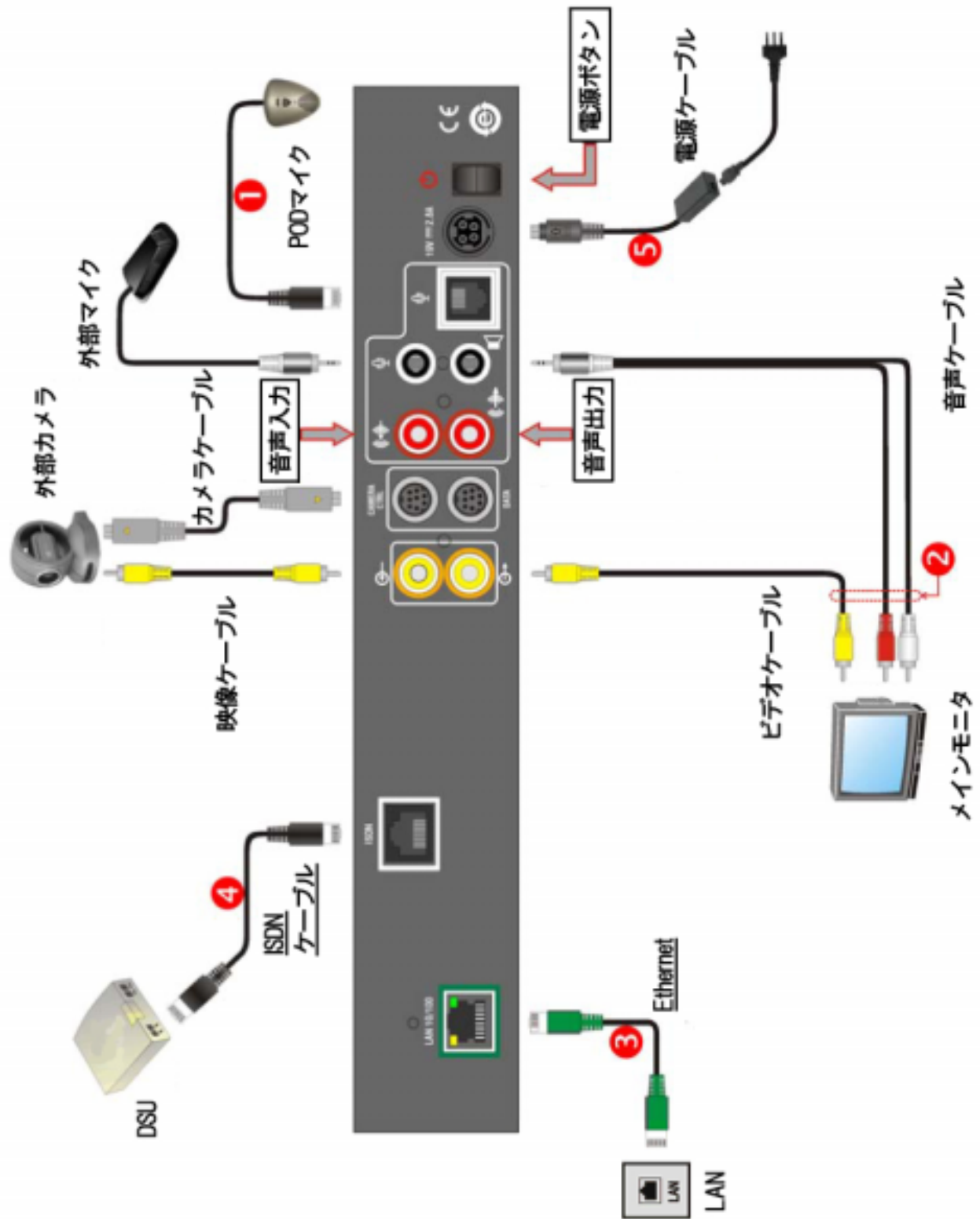
英数字の入力図表をご参照ください

**英数字(10 キー)入力のボタン説明**

ボタン	入力文字・記号						
1	1						
2	2	a	b	c			
3	3	d	e	f			
4	4	g	h	i			
5	5	j	k	l			
6	6	m	n	o			
7	7	p	q	r	s		
8	8	t	u	v			
9	9	w	x	y	z		
*	.	*	-	=	-	+	
0	0	スペース					
#	#	@	&	:	/	\	

# 設置と設定

## ケーブル設置図



## アドバイス

テレビ会議を快適に運用するために、以下の点にご注意ください。

### 会議の調整

- テレビ会議事前の確認事項
  - ・相手先接続情報(IP アドレス、または ISDN 番号)
  - ・部屋の明るさ調整
  - ・マイクの位置
- 利用する周辺機器との接続確認(書画カメラ、VTR、PC など)
- 実際の会議のように自然なジェスチャーを心がける
- 普段通りの声の大きさと話す

### 映像の調整

- 自然光、および照明の同時使用は避ける
- スポットライトなど光の直射は避ける
- 背景に可動性の物は映らないようにする
- できるだけ参加者が大きく映るようにカメラを調節する

### 音声の調整

- POD マイクは参加者の前に置く(机が大きいときは2つ使用することも考えましょう)
- POD マイクの周辺に、書類など音のするものは置かない
- テーブルや POD マイクを叩いたり、書類で雑音をださないようにする
- 通信中に POD マイクを移動する場合は、移動前にマイクミュートボタンを押す
- 通常の声の大きさと話す

## 設定

!	<b>全ての作業が完了するまで、システムの電源を入れないでください。</b>
---	--

- POD マイクを接続します。
- 音声と映像の出力とモニタを接続します。
- 映像入力を接続します。
- IP 接続の場合、LAN ケーブルを接続します。
- ISDN 接続の場合、ISDN ケーブルで DSU とコーデックを接続し、回線テストを行います。

!	<b>ISDN ケーブルは DSU に直結してください。</b>
---	----------------------------------

- 必要があれば、VTR や書画カメラを接続します。
- 電源ケーブルを接続します。
- コーデックの電源をいれます。
- モニタの電源をいれます。
- リモコンの電源ボタンを押しシステムを立ち上げます。
- メインメニューが映るまで待ちます。

コーデック正面の赤いライトでシステム状態を確認できます。

点灯:システム起動中です。

点滅:システム電源は入っていて、スタンバイモードです。

消灯:システム電源が入っていません。

## 専用マイクの接続



スイッチ

- 1) 専用マイクとコードブックを専用ケーブルで接続する
- 2) 専用マイクのスイッチを ON にする。

## 使用方法

この章では、本製品の使用方法(受発信など)について説明します。  
正しく設置していれば、メインメニューが映ります。

### 電源を入れる

初めて電源を入れた時には、左のような画面が表示されます。



- システム名:システム名を入力します
- 国:「Japan」を選択してください
- 言語:メニュー表示の言語を選択します
- 音声プロトコル:U.S.Aに設定します
- 映像規格:「NTSC/日本」に設定します
- トーン音の選択:日本標準音を設定します
- 周波数:  
東日本の場合:50Hz  
西日本の場合:60Hz として設定します。

設定が終わったらステータスバーの矢印アイコンを選択し、リモコンの「OK」を押すと保存の確認画面が表示されます。



# メニューマップ

メインメニュー    アドレス帳選択    ビデオ番号入力    電話番号入力    設定

## ユーザー設定

- ・コントロールパネル
- ・発着信設定
- ・ステータスバーと透過度
- ・配色の変更
- ・日付と時刻

## 音声・映像・データ

- ・音声    -    入力 / 機能 / 出力 / 音量調整
- ・映像品質
- ・カメラ    -    設定 / カスタマイズ / Driver
- ・モニタ    -    設定 / PIP-PaP
- ・データチャンネル

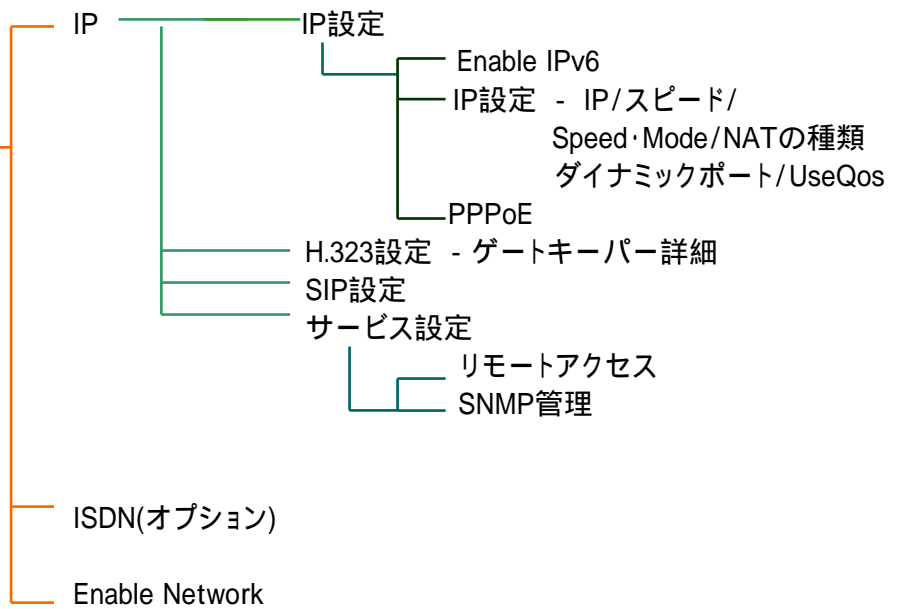
## 詳細設定

- ・プロトコル設定
- ・通信設定
- ・ロケーション設定
- ・System Configuration
  - 設定の初期化
- ・ライセンス
- ・暗号化
- ・パスワード

## プレゼンテーション

## 診断

- ・端末テスト
- ・インターフェイス    -    音声/映像
- ・接続状態    -    アクセス
- ・ハードウェア    -    音声
- ・リリースソフトウェア



## 発信方法



本製品の電源スイッチをいれると、メインメニューが映ります。

発信方法は3通りあります。

- アドレス帳選択  
(アドレス帳から番号選択)
- ビデオ番号入力  
(ビデオ番号の直接入力)
- 電話番号入力  
(電話番号の直接入力)

### アドレス帳からの発信



頻繁にかける番号はアドレス帳に保存すると便利です。「新規」から登録します。(P.19 アドレス帳新規登録の章をご参照ください。)

メインメニューで、リモコンの矢印キーで「アドレス帳選択」を選択し、「OK」を押します。  
接続先相手を選んで、「発信」を押してください。

### ビデオ番号入力からの発信




メインメニュー画面にて、矢印ボタンで「ビデオ番号入力」を選択し、「OK」を押します。


1. 通信種類を選び (ISDN / IP) 「OK」を押します。
2. 通信スピードを選び「OK」を押します。
3. リモコンの数字ボタンで、番号を入力します。  
IP 接続の場合: IP アドレス  
ISDN 接続の場合: ISDN 番号
4. 「発信」を押すと、接続を開始します。

ステータスバーのアイコンを選択し「OK」を押すと、メインメニューに戻ります。

リモコンの「HOME」ボタンを押しても、メインメニューに戻ります。



発信 : 「発信」を選択し、OK」ボタンを押します。

切断 : 「切断」を選択し、OK」を押します。(画面にて切断確認メッセージがでます。)

番号欄が空欄の時に「発信」を選択し、「OK」を押すと、発着信番号履歴が表示されます。

## 発信・受信の選択



受信番号履歴は緑の矢印で表示され、発信番号履歴は赤の矢印で表示されます。  
発着信した直前 60 個の履歴がリストされます。

メインメニューで、リモコンの発信ボタンを 2 回押すと同じように受発信履歴が表示されます。リストから発信または、編集したい番号を選択します。

## TCS-4 モードでの発信

TCS-4 で発信する場合、以下の番号入力箇所以下の方法で入力してください。

"ISDN 番号" # "エリアス H.323 (E.164)"

## 電話番号入力からの発信



本製品は電話としても使用できます。  
電話をご利用の場合は、メインメニューにて「電話番号入力」を選択し、「OK」を押します。

リモコンの数字ボタンで接続先電話番号を入力します。

発信 : 「発信」を選択し「OK」を押します

切断 : 「切断」を選択し「OK」を押します

(画面に切断確認メッセージが表示されます)

**Note !** 通信回線のご契約によりしますので、詳しくはネットワーク管理者にお問合せください。

## 暗号化通信

ステータスバーの鍵マークで暗号化の状態がわかります。



暗号化通信モードですが、まだ暗号化されていません



暗号化通信モードで、暗号化通信が始まっています



暗号化通信中(送信のみ)



暗号化通信モードではありません

## 受信方法



着信すると、画面に左のような着信メッセージと発信元番号が表示されます。

自動受信設定(「発着信設定」の章にて説明)になっていない場合は、応答/着信拒否を選びます。

## アドレス帳の利用

システムのアドレス帳やリモートサーバー(LDAP H.350)に、接続拠点の情報を保存できます。

### 新規登録方法

メインメニューで「アドレス帳選択」を選択し「OK」を押します。矢印ボタンで「新規」を選択し「OK」を押します。以下の画面が表示されます。



新規登録拠点の情報をリモコンボタンで入力します。

- 通信方法 (IP、ISDN)
- 接続スピード
- 名前、会社名
- IP アドレスまたは ISDN 番号

矢印ボタンで「保存」を選択し、「OK」を押すと保存できます。

#### Note !

音声会議用に登録する場合は、「音声のみ」にチェックをいれます。

### アドレス帳の編集



アドレス帳の編集方法:

1. アドレス帳をひらき、編集したい登録情報を選択し「OK」を押します。
2. カーソルを「編集」に移動させ「OK」を押します。
3. 編集し終わったら「保存」にカーソルをあわせ「OK」を押します。  
「キャンセル」を押すと、編集せず前の画面に戻ります。

登録の削除方法:

1. 削除したい登録情報を選択し「OK」を押します。
2. カーソルを「削除」にあわせ「OK」を押します。
3. 削除確認メッセージが表示されます。削除したい場合は「YES」を、削除をキャンセルする場合は「NO」を選択します。

### リモートサーバーへの登録


リモートサーバーへのアドレス帳登録方法 (LDAP H.350 protocol)

リモートサーバーへ接続する場合は、プルダウンメニューからサーバーアドレスを選択します。

#### Note !

詳しくは、ネットワーク管理者へお問合せください。

## 映像ソース

リモコンボタンの操作で、メインカメラ以外の映像ソースを送信できます。リモコンの赤、黄、CAMERA  ボタンで対応できます。  
以下より選択できます：

- ドキュメントカメラ      書画カメラに切り替えます

### Note !

メインカメラ以外を選択する場合、事前に端末の映像入力へ接続しておいてください。  
接続方法は P.27「音声・映像・データ」の章をご参照ください。

リモコンの「FAR/NEAR」ボタンを使い、接続中でも自拠点のカメラだけでなく、接続拠点のカメラも遠隔から操作することができます。

## 撮りたい絵を撮る方法

撮りたい絵を撮るために、リモコンボタンを利用しフレーミング(カメラを操作して相手に送る絵を決めること)ができます。

メインメニューの右上の映像ウィンドウにカーソルをあわせ「OK」を押します。リモコンの矢印キー、ズーム±で調節します。

## 映像ミュート

自拠点映像の通信停止

通信中、 を押すと、自分の映像が接続拠点に映らなくなります。

モニタに  が表示されます。

解除するときは再度同じボタンを押してください。

## 音声設定



ボタンで、受信音の音量調節ができます。



ボタンを押すと、通信中でも自拠点の音声カット(ミュート/マイクオフ)ができます。

モニタに  が表示されます。

音声カットを解除するには、もう一度




ボタンを押します。


## カメラプリセット

カメラの位置をあらかじめセットしておくことが可能です。

### ・カメラ位置の登録

カメラ位置を決めて、MEMO ボタン  を押し、保存したい番号を 10 キーから選び押します。

### ・登録の呼び出し

SEL ボタン  を押し、登録した番号を押します。

相手側カメラ操作中にプリセット登録を行うと、相手側のカメラ位置を登録できます。

## X1 の設定

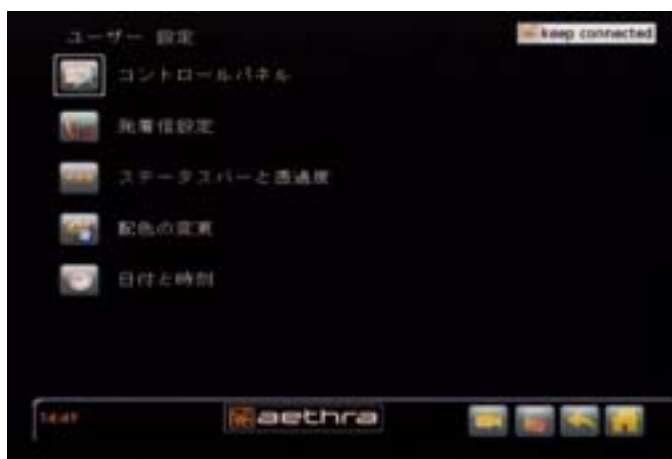
この章では、システムの設定方法を説明します。設定条件の中には、通信切断状態でしか変更できないものもあります。

### ユーザー設定



メインメニューより以下へ進みます。

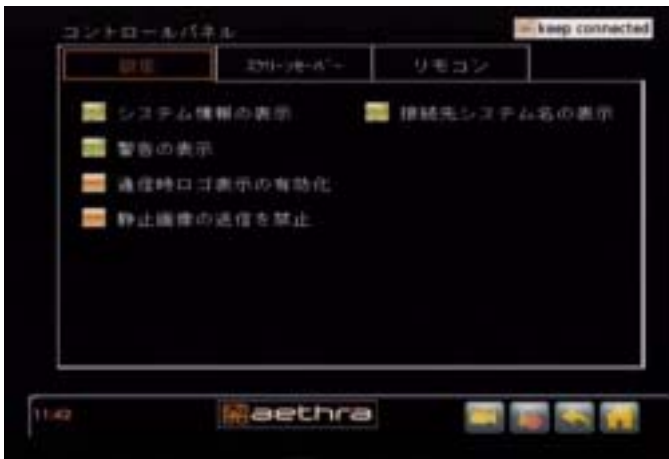
1. 設定
2. ユーザー設定



ユーザー設定で、以下の操作設定ができます。

- コントロールパネル
- 到着信設定
- ステータスバーと透過度
- 配色の変更
- 日付と時刻

## コントロールパネル



### 設定

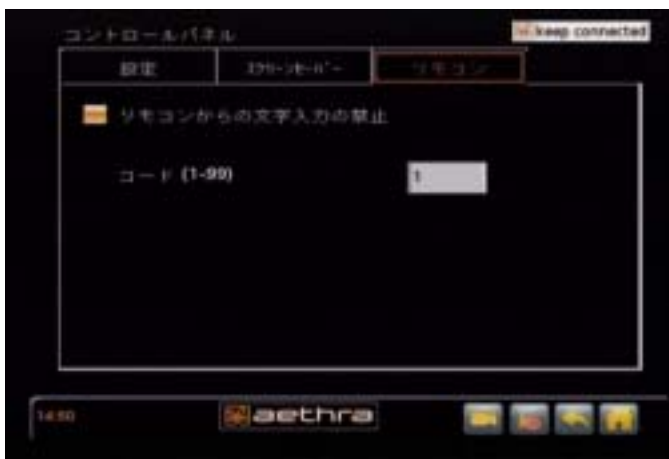
このページで以下の設定ができます。

- **システム情報の表示**  
自拠点情報(端末名称、ISDN 番号、IP アドレス)の表示/解除を設定します。
- **接続先システム名の表示**
- **警告の表示**  
切断するときに確認メニューの表示の有無を設定します。
- **通信時ロゴの表示の有効化**  
通話中のロゴ表示/解除設定ができます。
- **静止映像の送信を禁止**  
スナップショットの送受信を禁止



### スクリーンセーバー

- **スクリーンセーバー起動まで**  
スクリーンセーバー機能を設定/解除することができます。  
また、タイムアウト設定をすることもできます。
- **Randomize color theme**



### リモコン

- **リモコンからの文字入力の禁止**  
リモコンからアルファベットの入力を無効/有効にします。
- **コード**  
システムとリモコンの設定を変えることができます。

!

リモコンとシステムのコードが合わないとお操作ができなくなりますので、変更しないでください。

## 発着信設定



### 設定

以下の機能の設定ができます。


- **起動時マイクミュート**

起動直後およびテレビ会議終了後に自動でマイクをミュートします。マイクオフのアイコンは自拠点および接続拠点モニタに表示されます。

- **着信拒否設定**

起動直後およびテレビ会議終了後に、相手からかかってきてもつながらないようにします。接続拠点には「Call rejected」と表示されます。

- **接続時自動映像ミュート**

接続中のとき、このボタンを有効にすると接続拠点には自拠点の映像がミュート(カット)されます。が表示されます。接続していないときは、上記映像ミュート(カット)と、着信拒否が起動します。

- **トーン音の有効化**

接続中にトーン音を送信するのを有効/失効にします。

- **切断確認の表示**

切断時の確認メッセージ表示の有無

- **通話中に受信があれば告知**

通信中に別の端末からの着信通知を受信し、別の端末との通信に切り替えるかを選択することができます。(IP 及び SIP モードでのみ対応。)

- **自動着信**

設定した呼び出し回数後に自動着信します。



### Quick Call

短縮ボタンの設定が行えます。

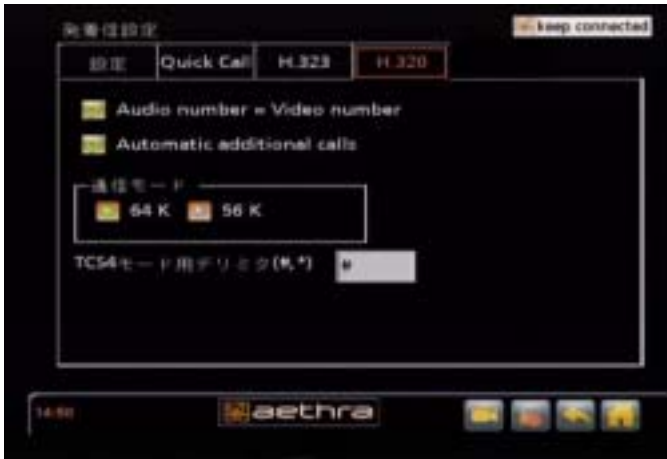
リモコンの緑色のボタンを押すだけで指定した端末への発呼が可能となります。また、クイックコールに登録した端末と通信中、他の端末から着信があった場合、自動的に他の端末との接続に切り替える設定を行うことができます。

### H.323

この項目は日本では未対応です。  
設定を変更しないでください。







## H.320

以下の機能の設定ができます。

- ・ Audio number = Video number

日本でご使用の場合は、ON に設定しご使用ください。

- ・ Automatic additional calls

日本でご使用の場合は、ON に設定しご使用ください。

- ・ 通話モード

日本では 64K にしてください。

- ・ TCS4 デリミタ

TCS2 デリミタ: "#”あるいは”\*”を選択できます。詳しくはネットワーク管理者にお問い合わせください。

## ステータスバーと透過度



メニューをカスタマイズできます。初期設定で設定されているステータスバーの位置や画面上の不要なアイコンを非表示することができます。

### • ステータスバーに表示される情報

- ・ 日付と時刻
- ・ カメラ情報(利用中映像入力)
- ・ ISDN 回線の状態
- ・ データチャンネル

### • 透過度

透過メニューの濃度を選択して調整できます。

透過度は、4つのプリセットレベル(高 = 75%の透過度、中 = 50%、低 = 25%、不透明 = 0%)を設定することができます。透過度は以下の方式で使用できます。

1. 自動: (デフォルト) 接続状態のみ透過度が適用されます。  
透過度は(初期設定では中) 選択可能です。ページによって透過度は動的に変わります。
2. 可変: 透過度は動的に変わります。
3. 固定: 透過度は変わりません。
4. 無効: 透過しません。

透過度レベルはリモコンの「C」で変更することができます。

見やすくするため、ステータスバーなど表示は、透過度設定は無視されます。

## 配色の変更



メニューの配色を変更することができます。



### 日付と時刻

表示する時間を設定することができます。

- ・ 設定
- ・ NTP サーバー

## 音声・映像・データ



メインメニューより以下へ進みます。

1. 設定
2. 音声・映像・データ

音声・映像・データで、以下の操作設定ができます。

- 音声
- 映像品質
- カメラ
- モニタ
- データチャンネル

## 音声



以下の操作設定ができます。

- 入力
  - 機能
  - 出力
  - 音量調整
1. 音量調整プルダウンメニュー画面から、「トーン音量」または「通話音量」を選択します。
  2. 音量調整のスライダを、リモコンの矢印ボタンで動かし、「OK」を押して確定します。

## 入力



表示されている各音声入力の調整ができます。希望する入力装置で、「OK」をクリックすると、ウィンドウが表示され、以下の設定ができます。

- ゲイン値の設定
- 入力の有効化 / 無効化
- エコーキャンセラの有効化 / 無効化

## 機能



以下の機能の有効化 / 無効化設定を行うことができます。

- AGC (オートゲインコントロール)
- NR (ノイズリダクション)

## 出力



このページでは、どの音源を音声出力から出力するかを設定できます。  
システム音声出力への音源を設定することができます。Tx は自拠点音声、Receiving は接続先音声、VTR は VTR 入力を表します。  
はじめに、プルダウンメニューから音声出力を選択し(モニター/VTR)、チェックボックスをチェックして、希望する出力への音源を選択します。

工場出荷時の設定値に戻すときは、「設定の初期化」を押してください。



### Note !

Line 出力を用いて録音する場合は、接続先と自拠点の音声の両方を録音する為、Receiving と Tx の両方をチェックしてください。

### Note !

接続先の音声を聞くスピーカーに対して「Tx」をチェックすると、エコーやハウリングが発生するので、ご注意ください。

## 映像品質

メインメニューより以下へ進みます。

1. 設定
2. 音声・映像・データ
3. 映像品質



- **通信エラー回復機能**
- **ダウンスピード機能**
- **映像品質速度(解像度優先 動き優先)**  
映像の許容エラー値の設定です。  
ます。
- **「エラー・ストラテジー」**  
映像がフリーズする前に、許容エラー値を設定  
します。  
Min: 受信映像にエラーが発生した場合、映像  
をフリーズさせて、エラー映像を表示させないよう  
にします。  
Max: 受信映像にエラーが発生した場合、映像をフ  
リーズさせずにエラー映像をそのまま表示します。

- **音声遅延の最適化** (メーカー推奨は「自動」です)

音声遅延の最適化を決定するまでは手動によりスライダーを動かすこともできます。

## カメラ

このページでは、以下の設定を行うことができます。

- 設定
- カスタマイズ
- Driver



### 設定

- 遠隔からのカメラ操作の許可
- カメラを所定位置に戻す
- プルダウンメニューから映像入力を選択
- 映像の最適化のための、コントラスト、輝度、彩度の設定

詳細を押すと、ホワイトバランス調整ができます。  
(自動、Indoor、Outdoor、Fluorescent light、カスタマイズ)



### カスタマイズ

各映像入力端子の利用の動作可能 / 不可能を設定することができます。

1. 映像入力の選択をする時は、通常、リモコンのカメラボタンを押し、選択可能な入力をリストから上下矢印ボタンで選び、「OK」を押します。
2. 映像入力のチェックを外すと、選択リストに表示されなくなります。
3. 「名前」に名前を英数字入力するとカスタマイズできます。リモコンの赤・黄・カメラボタンに映像入力ショートカットを割り当てます。

### Note !

カメラアイコンにショートカットを割り当てると、映像入力リストは表示されなくなるのでご注意ください。



**Driver** (管理者用パスワード入力が必要です)  
プルダウンメニューから映像入力で利用する PTZ カメラを指定することができます。  
Move: PTZ 機能の On/Off が可能です。

## モニタ

このページでは映像出力の設定ができます。

- 設定
- PIP-PaP



## 設定

この画面では以下を設定できます。

- モニタ設定 (使用モニタの数と種類)
- メニュー表示 (メニューを表示するモニタ)
- 映像出力  
(16:9/4:3 モニタ解像度の設定)

### モニタ設定 プルダウンメニュー (初期設定: 自動)

モニタ利用数プルダウンメニュー	接続モニタ
自動	システムが接続しているモニタを自動的に認識・利用

### メニュー表示 プルダウンメニュー (初期設定: 自動)

メニュー表示プルダウンメニュー	
自動	自動でメニュー表示モニタ設定

### 16:9 チェックボックス (16:9 モニタ専用)

16:9 モニタに対応する為、4:3 の映像に垂直のサイドバーを加え映像が歪まないようにします。



## PIP - PaP

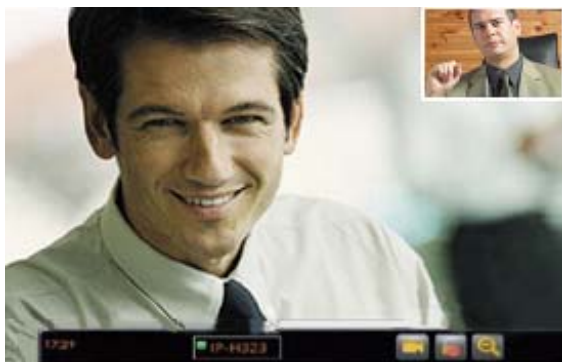
この画面では「マルチ映像」システム機能を選択することができます。

- **PIP: Picture in Picture (子画面表示)**

一つのモニタで接続拠点映像と自拠点映像をオーバーラップさせて見ることができます。接続拠点映像が全画面表示で、また、自拠点映像が子画面 (PIP) としてオーバーラップ表示されます。リモコンの「SELF」キーを押すと画面を入換えることができます。

PIP の設定ではプルダウンメニューから

- ・PIP-Position 左下 / 右上 / 左下 / 右下
  - ・PIP-Rotation 固定 / 時計回り / 反時計回り
- を設定することができます。



- **PaP: Picture and Picture**

一つのモニタで接続拠点及び自拠点映像を左右に分割して同時表示することができます。リモコンの「SELF」キーにより左右の映像を入れ替えることができます。



- **画面設定**

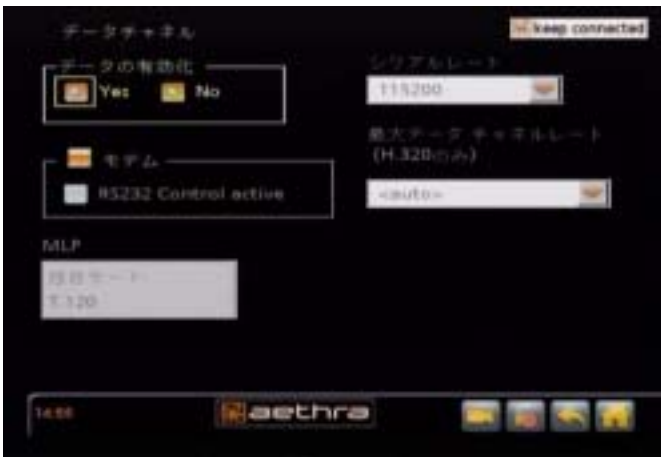
- **auto** を選択すると、PIP と PaP を切り替えて使用することができます。リモコンの PIP キーにより、PIP と PaP を切り替えることができます。
- **PIP** を選択すると、PIP 機能を使用することができます。
- **PaP** を選択すると、PaP 機能を使用することができます。

- **画面モード**

- **auto** を選択すると、利用可能なモニタ数よりも送受信している映像本数が多い時に、PIP あるいは PaP が自動起動します。
- **On** を選択すると、少なくとも 2 ソース以上の映像が使用可能な場合 PIP 及び PaP 機能を使用することができます (例えば、システムが接続されていない場合のように映像が 1 ソースしかない時は ON を選択しても PIP/PaP は起動しません)。
- **Off** を選択すると PIP および PaP 機能は使用できません。



## データチャンネル



この画面では以下の設定ができます。

- データの有効化 設定/解除
- シリアルレート
- モデム(モデムの設定/解除)

### ➤ 最大データチャンネルレート(H.320のみ)

高 < high >	<b>最大データ、音声・映像なし</b> 音声・映像データ両方の損失を最適化するデータチャンネル
中 < medium >	<b>最大データ、音声、映像なし</b> 音声の損失を最適化するデータチャンネル(映像データは稼動)
標準 < norm >	<b>最大データ、音声・映像</b> 音声・映像が稼動状態で最適化するデータチャンネル
自動 < auto >	<b>最大データ、音声・映像</b> RS232 のレート及び接続速度を最適化するデータチャンネルレート
選択レート	データチャンネルレートを選択できます (128k , 124.8k , 110.4k , 108.8k , 78.4k , 76.8k , 70.4k , 68.8k , 64k , 62.4k , 46.6k , 40k , 32k , 24k , 16k , 14.4k , 8k , 6.4k , off )

- MLP の選択  
独自モード  
T.120

## 詳細設定 (管理者パスワード入力が必要です)



この章では、X1の詳細設定方法を説明します。設定条件の中には、通信切断状態でしか変更できないのがあります。

メインメニューで「設定」を選択し「OK」を押します。設定画面にて、「詳細設定」を選択し、「OK」を押します。

各設定を誤って変更することがないように、パスワード設定ができます。パスワード初期設定「1234」です。

### パスワード

「パスワード」を選択し「OK」を押すとパスワード画面へ進みます。

この画面では管理、ユーザー、アドレス帳選択の3種類のパスワードの設定ができます。

- **管理者パスワード**:常に有効です。

- **ユーザーパスワード**

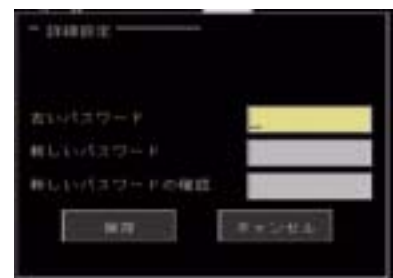
メインメニューから「設定」をクリックするとこのパスワードが要求されます。  
チェックを外すと無効になります。  
有効にすることをお勧めします。

- **アドレス帳選択パスワード**

メインメニューから「アドレス帳選択」をクリックするとこのパスワードが要求されます。  
チェックを外すと無効になります。  
有効にすることをお勧めします。

パスワードを変更する場合は、「編集」を選択し「OK」ボタンを押してください。

1. 変更前のパスワードを入力
2. 新しいパスワードを入力
3. 確認のため、再度新しいパスワードを入力



## プロトコル設定



この画面では以下の設定ができます。

- **IP / ISDN設定** (ISDNはオプションです)
- **スピード(Kbps)**  
64kbps ~ 1920kbps(IP) まで  
56kbps ~ 128kbps (ISDN BRI) まで
- **音声プロトコル**  
auto G.728 G.722 G.711 G.722.1
- **映像プロトコル**

auto	H.264
H.263	H.264 QCIF
H.263 QCIF	H.261
	H.261 QCIF

### Note !

「auto」設定すると、そのときの接続環境に適した音声・映像プロトコルに自動設定されます。

### Bonding モードの設定 (ISDN を選択した時のみ表示)

日本国内で接続する場合は、Bonding モードを「はい」に設定します。

## 詳細



詳細ボタンを押すとさらに設定ができます。

- ・ 映像
- ・ 音声
- ・ その他

## 通信設定



設定画面から、「詳細設定」を選択し(パスワードを入力)進みます。

通信設定画面へ進むには、詳細設定画面の「通信設定」を選択し「OK」を押します。

## ISDN 設定 (オプション)



この画面では以下を設定することができます。

- **ネットワーク**: 日本国内でご使用の場合は「National」に設定してください
- **5ESS**: 日本国内でご使用の場合はチェックしないでください
- **通信モード**: 「64K」に設定してください
- **CLIR (発信者番号通知制限)**: 有効な場合、システムは呼が確立された時点で発信者番号を通知しません。
- **COLR (接続先番号通知制限)**: 有効な場合、システムは接続が確立された時点で接続先番号を通知しません。

- **Downspeed**

有効な場合: 複数の回線で接続して通信する際、一回線が切断される場合でも接続を維持します。

- **Fallback**

有効な場合: リモートのシステムが固定電話を使用している場合にも呼を確立できます。

- **Bonding Rec.**

有効な場合: bonding 接続中にネットワークエラー (ネットワークの SLIP エラーなど) が生じた場合に修復を行います。

## 回線番号設定

回線番号設定 1 Keep connected

有効化

Number  
0352105241

SPID

TEI Fixed

TEI

有効化 SPID 2

Number  
02

SPID

TEI Fixed

TEI

1452 **aethra**

このメニューでは以下のことができます。

- ・「有効化」をチェックします
- ・番号を入力します
- ・SPID には入力しないでください
- ・TEI Fixed にはチェックしないでください
- ・有効化 SPID2 はチェックしないでください

### Note !

この設定をする時はネットワーク管理者にご相談ください。

## IP

メインメニューより以下のように進みます。

1. 設定
2. 詳細設定(管理者パスワード入力)
3. 通信設定
4. IP

以下のような画面が表示されます。



4つのオプションを設定することができます。

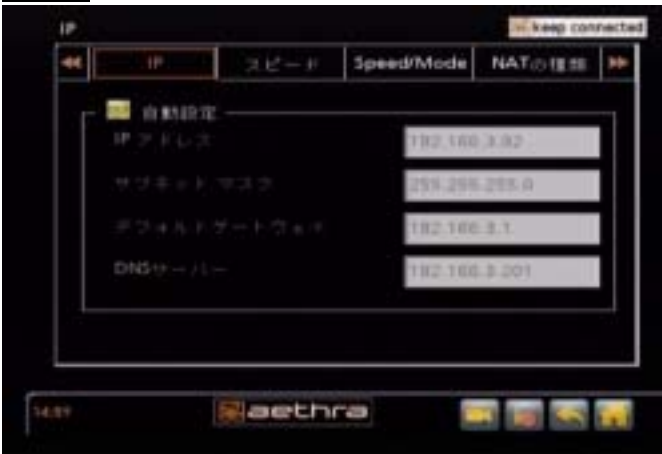
- IP 設定
- H.323 設定
- SIP 設定
- サービス設定

### IP 設定

有線 LAN 及び無線 LAN の設定を行います。「IP 設定」を選択し、希望する LAN ネットワークのタイプを選択してください。

- Enable IPv6= IPv6 の有効化/無効化
- IP 設定: 有線 LAN の設定
- PPPoE

### IP 設定



このメニューは、初期設定は DHCP です。マニュアルで IP アドレスを設定することもできます。

- IP アドレス
- サブネットマスク
- デフォルトゲートウェイ
- DNS サーバー

ハブ/スイッチングハブがオートネゴシエーションに対応していないときのために、「LAN Speed」(10Mbps/100Mbps/ auto)、「Duplex Mode」(Half/Full=半/全二重/ auto)を設定できます。初期設定は<auto>です。

### Note !

この設定をする時はネットワーク管理者にご相談ください。

その他、下記パラメータの設定ができます。

- **スピード**

最大帯域使用量 (Kbps 単位) 設定することができます。これらの上限値は送信・受信で別々に設定可能です。

- **Speed/Mode**

ハブ/スイッチングハブがオートネゴシエーションに対応していないときのために、「LAN Speed」(10Mbps/100Mbps/ auto)、「Duplex Mode」(Half/Full=半/全二重/ auto)を設定できます。初期設定は<auto>です。

- **NAT の種類**

NAT の使用

1. NAT の種類は手動に設定してください。
2. NAT の WAN 側 IP アドレスを設定してください。

- **ダイナミックポート**

TCP ポートと UDP ポートの範囲を設定できます。

- **Use QoS(QoS ポリシー適用の設定/解除)**

通信モード

- Precedence/TOS
- Diffserv

## Firewalls

全てのaethra製テレビ会議システムは以下のファイアウォールとの接続テストを完了しています。

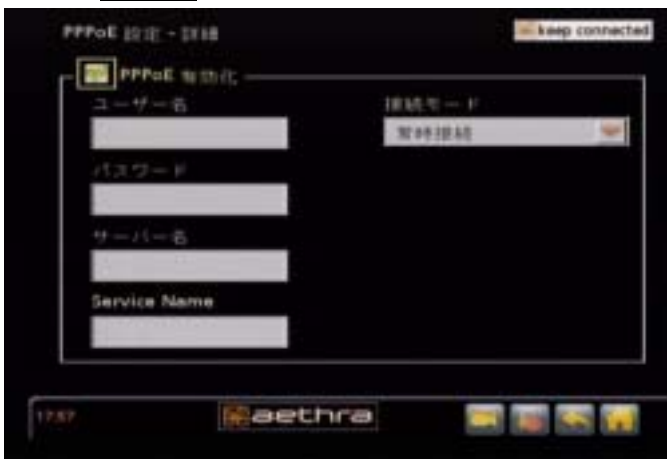
Cisco PIX Firewall (Firewall H.323 compatible-release6.1 及びそれ以降)

Cisco MCM Proxy (NAT H.323 compatible-IOS release12.2及びそれ以降)

## Note !

ファイアウォールを通過する場合、ファイアウォール管理者は双方向の IP 通信を許容するためにダイナミック TCP/UDP ポートを開ける必要があります。それとは別に接続用としてプロトコル(TCP1720(Q.931)、TCP1503 (T.120)、UDP1719、UDP1718(RAS))も開けてください。

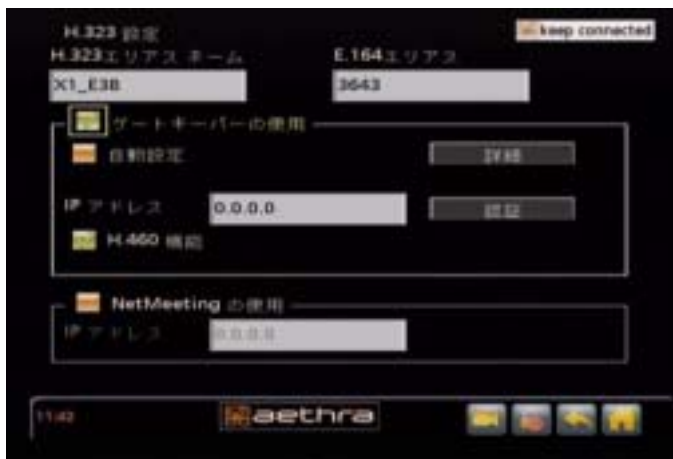
## PPPoE



## Note !

この設定をするときはネットワーク管理者にご相談ください。

## H.323 設定



この章はゲートキーパーを使用する際の設定項目です。。

- H.323 エリアスネーム  
(H.323 ID)ゲートキーパーに登録する端末のエリアスネーム
- E.164 エリアス  
(E.164)ゲートキーパーに登録する端末識別番号
- ゲートキーパー の使用  
自動設定: 自動でゲートキーパーを探します。  
IP アドレス: ゲートキーパーのアドレスを設定します。

- 詳細  
登録するタイミングを変更することができます。  
通常は「Auto Registration」にチェックを入れてください。
- NetMeeting の使用  
チェックすると T.120 を利用できます。この機能を有効にするには、
  1. 「NetMeeting の使用」をチェックします。
  2. アプリケーションを提供している T.120 サーバーの IP アドレスを入力します。

### Note !

この設定をするときはネットワーク管理者にご相談ください。



## SIP 設定



この章は SIP サーバを使用する際の設定項目です。

名前: 端末の名前

パスワード: 端末のパスワード

- レジスター設定
- プロキシ 設定
- Server type  
プルダウンでサーバーの種類を選択できます。
- TCP/UDP のいずれかを利用するか選択します。
- Port: シグナリングを受け入れるポート番号を入力します。(初期設定は 5060 です)

**Note !** この設定をするときはネットワーク管理者にご相談ください。

## サービス設定



サービス画面では Web、Telnet、Download、AT commands、SNMP 管理の設定ができます。

- リモートアクセス
- SNMP 管理

**Note !**

この設定をするときはネットワーク管理者にご相談ください。

## ロケーション設定

メインメニューから以下のように進みます。

1. 設定
2. 詳細設定(管理者パスワード入力)
3. ロケーション設定



以下のような画面が表示されます。

- **システム名**: システム名を入力します。
- **国**: 「JAPAN」を選択します。  
国を選択すると番号が自動的に付与されます。
- **言語**: 希望する言語を入力します。
- **PBX**: 入力しないでください。
- **音声プロトコル**: 「U.S.A」を選択します。
- **映像規格**: 映像規格 (NTSC/日本) を選択します。
- **トーン音の選択**: 希望するトーン音を選択します。
- **周波数**:  
東日本の場合: 50Hz  
西日本の場合: 60Hz として設定します。

## 設定の初期化

メインメニューから以下のように進みます。

1. 設定
2. 詳細設定(管理者パスワード入力)
3. System Configuration

初期化には以下の2つのオプションがあります。

- ユーザー設定のみ
- 全ての設定

プルダウンメニューから希望するオプションを選択すると、確認メッセージが表示されるので、「OK」ボタンを押します。

! Note !

「全ての設定」を選択した場合、確認のための警告画面が表示されます。

承認すると、工場出荷時の設定が読み込まれます。

通信履歴、アドレス帳および IP アドレスなど全ての設定情報は消去されてしまいますのでご注意ください。

## ライセンス

メインメニューから以下のように進みます。

1. 設定
2. 詳細設定
3. ライセンス

このページは初期設定では提供されていない追加機能を提供するものです。これらの機能が有効であることを確かめるには、販売店に連絡してください。



リモコンによりライセンスキーを挿入します。

1. ライセンスコードを入力します。
2. 「有効化」を押します。

### ライセンスキー入力で使用可能になるオプション

- ・ 128kbps までの ISDN 接続

## 暗号化

メインメニューから以下のように進みます。

1. 設定
2. 詳細設定
3. 暗号化

### 暗号化を有効にする



暗号化通信の利用が有効である場合、H.323 でも H.320 でも暗号を使用します。

ステータスバーから暗号化を有効化/無効化することもできます。南京錠のアイコンを選択し、「OK」ボタンを押してください。

### IP 接続での利用について

・暗号化を有効にした場合、テレビ会議の最初から、データは保護されます。

### 暗号化を使用する (H.320 のみ)

- ・このオプションが選択されている場合、ISDN 接続開始から暗号化の手続きを実行します。
- ・このオプションが選択されていない場合、ISDN 接続は非暗号化モードで開始されます。暗号化は接続後いつでも有効にすることができます。通信中に暗号化を ON にするときは、ステータスバーの黄色の南京錠を選択し、「OK」ボタンを押してください。

- **非暗号化通信**

このプルダウンメニューから、リモート端末が暗号化非対応のシステムが適用するポリシーを選択することができます。

- ・「切断」 暗号化をサポートしていないリモート端末との接続を拒否するモードです。暗号化非対応端末からの着信を自動で切断します。
- ・「確認」 非暗号化通信を認めるか確認メッセージが表示されます。
- ・「告知」 非対応端末と接続しますが、非暗号化通信を行おうとしていると警告メッセージが表示されます。
- ・「Show status」 システムは非暗号化通信を行おうしていると通知します。また、接続後はステータスバーに南京錠が開いたアイコンが表示されます。

- **AES キー長**

このプルダウンメニューを選択すると (ISDN 接続のみです)、3 つの AES 鍵長を選択することができます。

- ・「128 bit」
- ・「192 bit」
- ・「256 bit」
- ・「自動」 (接続相手にあわせて最適なものを自動で選びます)  
H.323 による IP 通信では、鍵長は 128 bit 固定です。

- **プライム DH ナンバー長**

暗号化通信の為に AES 秘密鍵の交換自体を暗号化する仕組みとして、DH 方式を採用しています。DH 方式での暗号化の初期値長を以下の 2 つから選択することができます。

- ・「High Security」 (1024 ビット長)
- ・「Very High Security」 (1536 ビット長)

IP 通信では、システムは常に 1024 ビット長の High Security オプションを使用します。最も一般的なものはテレビ会議で High Security 初期値及び 128 ビットの AES 秘密鍵を使用します。

## 診 断



本製品の診断画面では、システム設定が正しく機能しているか、テスト確認できます。メインメニューの設定から「診断」を選択すると左の画面がでます。この診断画面では、通信状況、インターフェース、音声、映像、ハードウェアなどの設定画面にアクセスできます。

### 端末テスト

映像通信中に起きた問題を分析するのに有用なシステム内部のテストを行えます。端末テストでは、発信音声と映像状態を確認できます。

リモコンの「ホーム」 で、前の画面に戻ります。



### インターフェース

インターフェースでは以下の項目の確認ができます。

- 音声
- 映像
- ネットワーク

### 接続状態

音声・映像の出力帯域幅、プロトコル、スピード、フレームレート、パケットロスなどを確認できます。接続状態一覧表は、その時モニタに映っている映像と重なって見えます。リモコンの「C-DEL」(クリアボタン)を押すと透過度の調節ができます。また、リモコンの矢印キーと「OK」で表をスクロールできます。

### ISDN

ISDN 通信中に「Access」をクリックすると各回線の設定および接続状態が確認できます。また、「Cause Disc.」(通信不可の理由) や、H.221 エラー、遅延など表示されます。

### IP

IP 通信中の場合、音声・映像の接続状態、スピード、プロトコル、フレームレート、パケットロスなどが確認できます。

## **ハードウェア**

ハードウェアの状態、例えば MAC アドレス、内部温度、リモート制御設定、電池残量などを確認できます。「音声」に含まれる内容は、音声・映像・データの「音声」でも確認できます。

## **リリースソフトウェア**

ご使用の端末にインストールされているソフトウェアのバージョンが確認できます。

# 技術仕様

## 技術仕様標準準拠

- ITU-T H.320 ISDN, 専用線
- ITU-T H.323, IP
- IETF SIP (RFC3261), IP
- PPPoE

## 通信

- 通信スピード
  - IP 接続 64kbps ~ 2Mbps
  - ISDN BRI 56kbps ~ 128kbps(オプション)

## 映像

- フレームレート
  - 15 フレーム/秒 @56kbps-128kbps
  - 30 フレーム/秒 @168kbps-2Mbps
- 対応画像解像度
  - FCIF 352 × 288 ピクセル
  - QSIF 176 × 144 ピクセル
  - SIF 352 × 240 ピクセル
  - QSIF 176 × 120 ピクセル
  - スナップショット対応 (H.261 Annex D)
  - 4CIF 704 × 576 ピクセル
  - 4SIF 704 × 480 ピクセル
- 遠隔カメラコントロール
  - H.281 (H.320-H.323)

## 音声

- | 音声      | 帯域           | ビットレート       |
|---------|--------------|--------------|
| G.711   | 300 ~ 3400Hz | 48/56/64kbps |
| G.728   | 50 ~ 3400Hz  | 16kbps       |
| G.722   | 50 ~ 7000Hz  | 48/56/64kbps |
| G.722.1 | 50 ~ 7000Hz  | 24/32kbps    |
- エコーキャンセラ Full-duplex
  - アダプティブポストフィルタリング
  - オートゲインコントロール (AGC)
  - ノイズリダクション

## デジタル POD マイク

- 範囲: 120°
- 特性周波数: 50 ~ 14000Hz
- 内蔵マイク数: 1
- ミュート操作ボタン搭載

## 内蔵カメラ

- 解像度: 752 × 582 ピクセル
- プリセット: 122 パターン
- 広角範囲: 6.4° ~ 65.5°
- ズーム: 10.5 倍
- 最小照度: 1.5 lx

## 対応ディスプレイ

- PAL/NTSC
- PIP / PAP 機能
- 16:9 対応

## ネットワークインタフェース

- 標準
  - イーサネット
    - 10/100BASE-T 内蔵イーサネット
  - スイッチ 1 × RJ-45
  - ソフトウェアオプション
    - ISDN BRI 1 × RJ-45

## ネットワークプロトコル

- TELNET, HTTP, SNMP, DNS, DHCP, RTP/RTCP, ARP, TCP/UDP, STUN, FTP

## ネットワーク機能

- Differentiated Service (DIFFSERV)
- IP Precedence
- IP Type of Service (ToS)
- Auto Gatekeeper Discovery
- Clever Packets Management (AeCPM)

## Firewall Traversal

- Auto NAT discover HTTP and STUN
- H.460.18, H.460.19
- "Keep Alive" 時間設定

## 音声/画像インタフェース

- 映像入力
  - メインカメラ: 内蔵タイプ
  - 外部カメラ: コンポジット (RCA)

- 映像出力
  - モニタ 1: コンポジット (RCA)

## 音声入力

接続	レベル	端子
POD マイク 120°	デジタル	RJ-11 (6 極 6 芯)
外部マイク	マイク	ステレオジャック 3.5mm
外部入力	ライン	RCA

## 音声出力

接続	レベル	端子
モニタ 1	ライン	RCA (L/R)
外部出力	ライン	ステレオジャック 3.5mm

## 補助インタフェース

- データ RS232 Mini-DIN 8-pin (D-Sub9-pin アダプター付)
- RS232 診断 Mini-DIN 8-pin
- VISCA RS232 Mini-DIN 8-pin (Canon, Sony, PTZ カメラ対応)

## テキストチャット

- T.140 対応

## 互換性

- Microsoft Office Communicator 2007 対応

## ユーザーインタフェース

- 多言語メニュー表示
- 対応言語:
  - 日本語、イタリア語、英語、フランス語、スペイン語、ドイツ語、ポルトガル語、ポーランド語、ノルウェー語、スウェーデン語、中国語、チェコ語、ロシア語、韓国語、ハンガリー語
- 赤外線リモートコントロール機能
- 画面ヘルプ
- 診断機能
- 接続状況モニタ
- AMX 社または、Crestron 社タッチパネル対応
- グラフィックユーザーインタフェースのカスタマイズ
- ウェブストリーミング機能 (Quick Time 対応のユニキャスト/マルチキャスト)
- セキュリティモード(ソフトウェアオプション)

## 暗号化通信対応

- AES H.233, H.234, H.235, H.235 Annex D NIST(アメリカ国立標準技術研究所)認定済み

## ウェブ管理

- ウェブブラウザから詳細設定、発信、診断、管理機能画面にアクセス対応
- Microsoft Internet Explorer™
- Netscape Navigator™

## 遠隔診断および管理

- |        | 自拠点 | ウェブブラウザ | SNMP |
|--------|-----|---------|------|
| セルフテスト |     |         |      |
| 診断     |     |         |      |
| 設定     |     |         |      |
| 発信     |     |         |      |
| エラー追跡  |     |         |      |

## プレゼンテーション

- 対応アプリケーション
  - Microsoft Power Point
  - マルチメディアサポート T.120

## 電源消費量

- 最大 100-240Vac 50-60Hz 1.8A

## サイズ

- VEGA X1
- 幅 39.0cm
- 高さ 18.5cm
- 奥行 20.5cm
- 重さ 2.46kg

## トラブルシューティング

問 題	解 決 法
モニタに何も表示されません。	端末とモニタのスイッチが入っていることをご確認下さい。 モニタの前面にある on/off キーを押すとモニタの電源が入ります。 問題がある場合、お買い求めになった販売店にお問合せ下さい。
セルフビューで自分が見えず、映像が暗いです。	カメラの前にさえぎるものがないことをご確認下さい。 リモコンまたは Web ブラウザから映像カメラの”カメラ”ボタンを選択して下さい。 問題がある場合、お買い求めになった販売店にお問合せ下さい。
相手に自分の音声が聞こえません。	マイクロフォンの近くに障害物がないことをご確認下さい。 診断をご確認下さい(関係するマニュアルの章をご参照願います)。 問題がある場合、お買い求めになった販売店にお問合せ下さい。
背面の LAN の LED は点灯しているが、PING が通りません。	IP アドレスが競合していないかをご確認下さい。 問題がある場合、お買い求めになった販売店にお問合せ下さい。
データ接続ができません。	データ接続が確立していることをご確認下さい。(関係するマニュアルの章をご参照願います。) IP のデータ設定が接続しているシステムと同じであることをご確認下さい。 IP 接続の場合、「NetMeeting の使用」チェックボックスがチェックされていることをご確認下さい。 また、接続している PC の IP アドレスが正しいことをご確認下さい。 問題がある場合、お買い求めになった販売店にお問合せ下さい。
IP アドレスは正しいのですが、IP 接続ができません。	スイッチが入っていることをご確認下さい。 PING がシステムに届くことをご確認下さい。 両システムのゲートキーパーの有効/無効をご確認下さい。 問題がある場合、お買い求めになった販売店にお問合せ下さい。
セルフビュー画像が黑白になり、上下に流れません。	以下のメニュー画面から映像標準(NTSC または PAL)が正しく選択されていることをご確認下さい。 設定 地域(日本は NTSC)
自局から送信している映像が暗すぎます。	カメラに直接光が入っていないかをご確認下さい。
音声が聞き取りにくく、雑音しか聞こえません。	スピーカー(TV、システムのスピーカーなど)から離れた位置にマイクロフォンを設置して下さい。 音量が高すぎないことと、エコーキャンセラが有効であることをご確認下さい。



## 技術明細事項

### 動作および保管状態

動作温度	+5 ~ +45
湿度	10% ~ 93% (結露なきこと)
保管温度	-40 ~ +70

### 参照事項(CE マーキングと信頼性テスト)

保管	EN 60068-2-1 Test Ab (IEC60068-2-1)
	EN 60068-2-2 Test Ab (IEC60068-2-2)
運搬方法	IEC 60068-2-32 TestEd-Method1
	EN 60068-2-64 Test Fdb (CEI50-6/9)
オペレーティングコンディション	CEI 50/3
	EN 60068-2-1 Test Ab (IEC60068-2-1)
	EN 60068-2-2 Test Ab (IEC60068-2-2)
	IEC 60068-2-14 Test Nb
	IEC 60068-2-56 Test Cb
	IEC 60068-2-6 Test Fc
	IEC 60068-2-31 Test Ec
	IEC 60068-2-32 Test Ed-Method 1
	IEC 60068-2-64 Test Fdb(CEI 50-6/9)
EMC	EN 55022
	EN 55024
	EN 61000-3-2
	EN 61000-3-3
	FCC15*
安全性	EN60950(IEC 60950)
ネットワーク通信	FCC68*
	JATE (C04-0032003) (日本のみ)